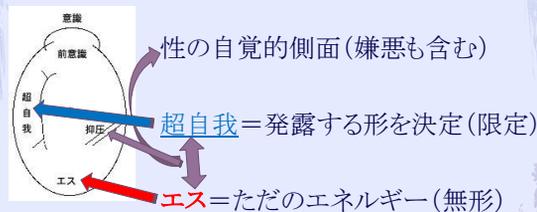


フロイトの考えた無意識モデル



超自我は ある形を要求する



オオカミ少女

表1 動物に育てられた子供の事例①



1922年に北インドでオオカミの育てられた少女二人が発見された。

写真はカメラ

事例の名称	発見の年	発見時の年齢
ヘッセンの狼少年	1344年	7歳
ヴンツラウグイーの狼少年	1344年	12歳
リトアニアの最初の狼少年	1661年	12歳
アイルランドの最初の狼少年	1672年	16歳
ペルベルクの子年少年	1680年頃	
リトアニアの二番目の狼少年	1694年	10歳
リトアニアの三番目の狼少年	1694年	12歳
カルペン(ハンガリー)の狼少女	1767年	18歳
ザルツブルクの狼少女		22歳
オーバータイクの狼少年クレメンス		
オーバータイクの狼少年		
クロンスタットの狼少年		23歳
南アフリカのひび少年ルカ	1904年	
インドの豹 (panther) 少年	1920年	
ドナブルのカマラ	1920年	8歳
ミナナールのアマラ	1920年	2歳
最初の豹 (leopard) 少年		
インドの狼少年		
二番目の豹 (leopard) 少年		8歳
シリアの狼少女	1946年	
モリタニアの狼少年	1950年	
テヘランの狼少年	1961年	14歳

生涯言語を介さなかった少女は、生涯「性」を発現しなかった

まとめ

- ①、人間の意識(=理性)の背後には、無意識がある
- ②、無意識は、言語になっていない世界
- ③、人間の性は、本能ではない
- ④、人間の性は、言語世界の参入によって生まれる
- ⑤、人間の性は、母親の代替である

セックスとジェンダー

SEX=性行為 という意味ではない

セックス= 生物学的(科学的)に決まっている性区分

ジェンダー= 社会的(歴史的)に決まっている性区分

↓

こっちの方が、人間にとって重要だ。

振る舞い方・生活習慣・服・言葉・生き方……

セックスとジェンダー②

セックス= 生物学的(科学的)

→ **本質主義**

ジェンダー= 社会的(歴史的)に決まっている性区分

→ **構築主義**

全ては、生まれた社会と時代によって偶然決まっている!

本質主義=変えられない **構築主義=変えられる**

セックスとジェンダー③

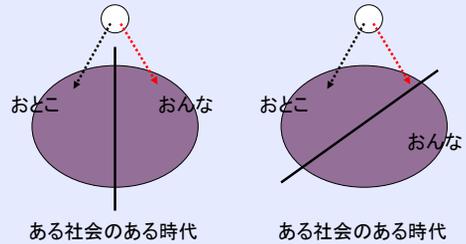
ジェンダー＝社会的(歴史的)に決まっている性区分
 → **構築主義**

全ては、生まれた社会と時代によって
偶然決まっているにすぎない!

- (例) 男＝働く 女＝家事
 男＝何もしない 女＝化粧する
 男＝見る 女＝見られる
 男＝中身 女＝外見

セックスとジェンダー④

ジェンダーの区分は**ただの時代的偶然**
 絶対に正しいという区分は、ない!



セックスとジェンダー⑤

ジェンダーの区分の境目は、**あいまい**。

男らしさ……

- やさしさ?
- 美しさ?
- 強さ?

女らしさ……

セクシャリティ①

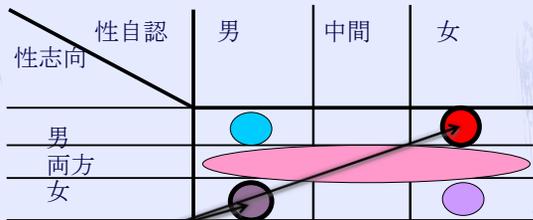
性自認＝セクシャルアイデンティティ

自分は、社会のジェンダー規範に
 どう合わせて生きてゆくかの選択

オリエンテーション＝性の指向性

- ①、一方向とは限らない
- ②、同じ人でも時によって変わる

セクシャリティ②



ヘテロセクシャリズム
 言葉の問題 { 区分(ホモ・オカマ・ゲイ)などの区分は無意味(差別に繋がる)
 ただし、区分を求める人も多い(分類化による安心)

セクシャリティ③

セクシャリティ 性自認やオリエンテーションの
 複合された有り様

人それぞれによって**違う!**
同じセクシャリティはない!

セクシャリティ④

性志向	性自認	男	中間	女
男		●		●
両方		●		
女		●		●

性の非対称性

ニューハーフ と その反対を考慮しよう！
 ニューハーフの性自認＝女
 ニューハーフの性志向＝男

フェミニズム

女性の差別を解放を目指す思考様式
 = 女性学 = フェミニズム

ウーマン・リブ (70年代) → 社会運動へ

フェミニズム {
 リベラルフェミニズム (男女平等を目指す) (80年代)
 → 文化規範 や 法律改定 へ
 ラディカルフェミニズム (90年代)
 → 男女という規範自体を打ち壊す

↓
 徹底的な文明批評・文化批評へ

フェミニズム②

- ①、法律 (男女雇用機会均等法 等)
- ②、芸術 (文学・美術等々)
- ③、社会意識への警鐘 (職業差別・セクハラ等)
- ④、介護問題
- ⑤、文化的規範と性差別の問題 (第三世界の女性等)
- ⑥、様々な学問的成果との関連

フェミニズムの拡大

(例)

精神分析 … 性差は言語習得と密接な関係
 エコロジー … 男性＝工業＝生産の担い手 → 地球環境の悪化
 美術史 … 男性中心主義的な歴史観

フェミニズム③

夫婦を二つのフェミニズムで考えると……

リベラル 夫婦同権

男の労働 = 家事労働

夫婦であることは温存

ラディカル 夫婦という制度＝国家制度

様々な家族の在り方を阻害する

さいごに

ノーマル (多数派) である優越性はない

マイノリティ (少数派) を差別出来る根拠はない

自分が知らない間にやっている性差別！